

しろやぎさんからの手紙

病児の保育しろやぎさんのポシエット

NO. 5

今年のカレンダーがついに最後の1枚となりました。今年も残りわずか。元気に楽しく2017年を迎えることができるように、睡眠、食事など日頃の体調管理の他に、手洗いやマスクなどの感染予防を心がけていきましょう。

《ウイルス性胃腸炎について》

嘔吐や下痢などのウイルス性の胃腸炎症状で来院する方が増えています。ノロウイルスやロタウイルスなどのウイルス検査を実施するには便検体が必要になります。検査をご希望の場合には、便を密閉容器に入れて医療機関にお持ちください。

《ウイルス性胃腸炎の感染防止》

ウイルス性胃腸炎は、吐物と便中に含まれるウイルスが主に口から体内に入ることによって感染します。嘔吐をした人の飛沫(くしゃみ、咳 etc)でも感染します。感染者のお世話をする看護者は、きちんとマスクを装着して対応する必要があります。また、トイレの後にはきちんと手を洗いましょう。子ども達への正しい手洗い方法の指導が大切です。ノロウイルスには通常の手指消毒アルコールは十分な効果が期待できませんのでご注意ください。



《おむつ交換の手順》

乳幼児のおむつ交換は、飲食物や調理器具と交叉接触しない箇所で行いましょう。ウイルス性胃腸炎の流行期には、一見、健康そうに見えるお子さんの便中にも胃腸炎ウイルスが残存していることが多々あります。保育施設では下痢症状のない健康な児も含めたすべてのお子さんのおむつ交換の際には、使い捨て手袋を使用し、手袋をはずしたら手を洗いましょう。また、おむつやおしり拭きや、使用した手袋はすべてビニール袋に入れて密閉しましょう。



《吐物の処理》

吐物は、速やかに換気をしつつ密閉することが必要です。すぐに密閉できない場合、吐物が乾燥して粒子が拡散すると室内にいる人に感染を広がってしまう恐れがあります。嘔吐したお子さんがいた場合、まずは速やかに他のお子さんを、他のお部屋に避難させることも大切です。吐物は使い捨て手袋を使用してビニール袋に入れて密閉しましょう。また、汚染箇所は速やかに次亜塩素酸ナトリウム(ミルトンやピューラックス等)で消毒しましょう。汚染されたリネン類等も次亜塩素酸ナトリウム(塩素系ハイターetc)で消毒・つけ置き洗ってから洗濯することが大切です。もちろん、手袋をはずしたら手を洗いましょう。

(ウイルス性胃腸炎の嘔吐物の処理に必要な物品がセット組された商品がいくつか販売されています。あんず薬局那珂店でも取り扱っています。ご興味のある方はご相談ください。)

ウイルス性胃腸炎に罹患した場合は、他者にうつさないことに十分配慮しつつ、脱水症状に注意して適切な水分補給を行うことが大切です。OS-1(味が改良されて随分飲みやすくなりました)などの経口補水液を、小児の場合は1回につき体重と同じml(体重10kgなら10ml/回、体重20kgなら20ml/回)5~10分毎に摂取することができれば、点滴と同等か、それ以上の脱水予防(治療)効果が期待できます。(清涼飲料水のイオン飲料では塩分濃度が低く糖濃度が高いのでダメです)

《水痘の流行対策》

市内外の保育所で水痘が流行している施設があります。水痘は、空気感染(麻疹や結核と同等)します。水痘に罹患してしまうと、将来的に帯状疱疹を発症するリスクが生じます。

水痘の予防接種は2回必要です。3ヶ月以上(標準的には6ヶ月)の間隔をあけて2回接種します。ワクチンは1歳以上全年齢で接種可能で、大変効果的です。1回もワクチン接種をしていないお子さんが水痘を発症してしまうと、発疹が出現する2~3日から周囲に大量のウイルスをばらまき、周りの多くのお子さんたちを感染の危険に曝してしまいます。この場合、



ワクチンを1回しか接種していないお子さんはおよそ3~4割程が罹患してしまいます。ワクチンを2回接種しているお子さんも数%程度に皮疹がみられて発症する場合がありますが、総じて極めて軽症で、ばらまきウイルス量も少ない事が特徴です。つまり、

保育施設や幼稚園・学校などでは、常日頃から、在籍する子ども達の水痘ワクチンの接種歴や罹患歴を把握して(水痘や麻疹や百日咳など、乳幼児ではロタウイルスなども含めて、接種歴や罹患歴の管理台帳を作成されることをオススメします)未接種、未罹患者に接種勧奨を行うことが大切です。また、水痘発症者が出てしまった場合は、未接種・未罹患のお子さんは水痘の潜伏期である可能性を考慮して、発症して他児に2次感染・3次感染させないように保護者の方に対して早期に個別に対策を指導していただくことが重要です。

地域の子ども達の健康と安心のために、引き続きご理解とご協力をお願い致します。



流行状況 (H28.11/1~11/30 検査陽性者のみ)

	市内		市外	
	未就学児	就学児	未就学児	就学児
溶連菌	168	137	121	64
RSウイルス	6		3	
マイコプラズマ		7		3
水痘	5			
百日咳	1		1	
インフルエンザ A		1		
インフルエンザ B		1		

対象：当院受診者

お問い合わせやご相談は

那珂キッズクリニック小児科 病児の保育しろやぎさんのポシエット Tel: 090-2542-5630